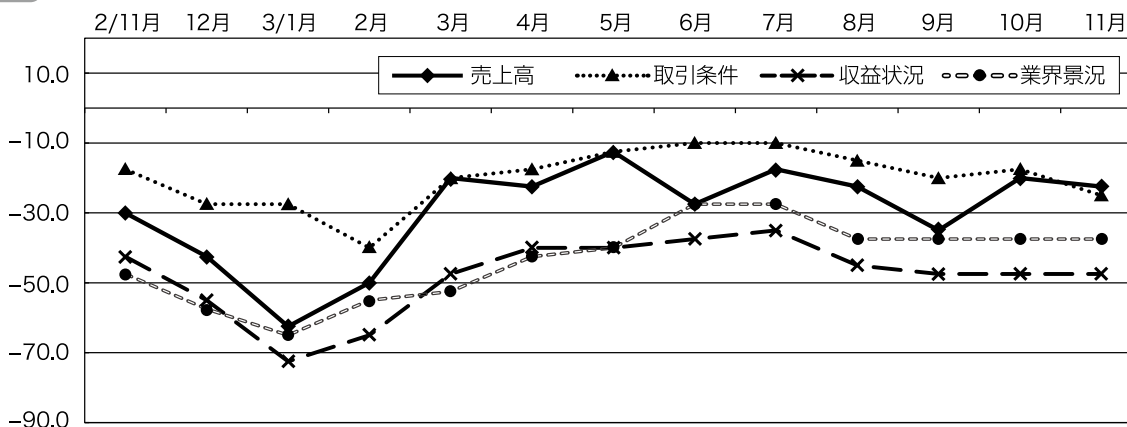


業界の今

情報連絡員報告より
11月の業界の動き

◆ 令和3年11月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	2/11月	12月	3/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	-22.5	-35.0	-55.0	-42.5	-12.5	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-27.5	-12.5	-15.0	-2.5
取引条件	-10.0	-20.0	-20.0	-32.5	-12.5	-10.0	-5.0	-2.5	-2.5	-7.5	-12.5	-10.0	-17.5	-7.5
収益状況	-35.0	-47.5	-65.0	-57.5	-40.0	-32.5	-32.5	-30.0	-27.5	-37.5	-40.0	-40.0	-40.0	0.0
業界景況	-40.0	-50.0	-57.5	-47.5	-45.0	-35.0	-32.5	-20.0	-20.0	-30.0	-30.0	-30.0	-30.0	0.0

概要

令和3年11月の前年同月比DI値の推移は、「収益状況」がー40.0ポイント、「業界景況」がー30.0ポイントとなり、好転する兆しは見受けられず、「取引条件」においてもー17.5ポイントと悪化傾向のままである。「売上高」もー15.0ポイントと回復があまり戻らない中、原材料の高騰など景気回復への足がかりが見通せない状況は続いている。なお、資金繰りにおいても好転の兆しは少なく、切れ目のない支援金の支給や政府及び民間金融機関による融資制度の拡充、既往債務への柔軟な対応が求められる。

新型コロナウイルス感染症の影響は続き、業界の動向は非常に厳しい(内装工事業)

	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	豆腐	新型コロナウイルス感染者が今のところ収まっており、外食産業への食材としての納品は少しずつ戻りつつある。
	繊維工業	組紐	業界内の景況としては好転の兆しはあるが、2019年度以前に比べればまだまだ厳しい現状である事は変わらない。
	一般機器	四日市	三重県はこのところ、新型コロナウイルス感染者がゼロの日が続いている。ところが、また変異株の「オミクロン株」がアフリカで発生し、日本でも確認された。 近況では、海外に依存している部材や部品の供給が停滞気味であり、特に半導体関連の入荷遅れは半年以上になっている。
非製造業	小売業	自転車	長らく新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会議の開催が連続で中止されていたが、感染者数が落ち着いた11月26日、愛知県にて少人数、短時間での中部自転車ブロック会が開催された。各県の動向として商品の動きはこの1年、愛知、静岡は昨年並みで、三重県を含む中部5県はマイナス20～30%と低調となっており、10月1日からの自転車用品、部品が15～20%以上の値上げとなる。発注料も加算される中、日本自転車商協同組合連合会による共同購買事業(本部出資)において、1メーカーが用品の斡旋事業に手をあげてもらった。各ショップにて注文、決済を直接行う方式の発表があり、今後組合員への通知をするところである。また、創立70周年記念事業として、希望者に自転車安全整備士、技工認定証の発行を行う予定である。
	サービス業	旅館	昨年は「Go to トラベル」が7月22日よりスタートし、夏休み頃より徐々に効果が出始め、昨年11月は最高に効果が出た月だった。三重県は全国的にみても客足の戻りが早かった事もあり、対前年を超える施設が多かったが、今年は「緊急事態宣言」も解除され「県民割」効果もある程度は出ていたが、昨年のような勢いは全く見られず、昨年の70～80%程度の業績のようであった。大中規模旅館はコロナによって旅先が近場志向になった修学旅行客が伊勢志摩を中心に多くなり、業績悪化の歯止めとなった。
	建設業	内装工事業	11月も前月と同様、対前年同月比でマイナスとなった。新型コロナウイルス感染症の影響は続き、業界の動向は非常に厳しい。

P10 あなたも組合士【解答】

A	B	C
脱退した事業年度の終	遅滞なく	第三者